

ネットワーク通信



№31
2019.6.28

山梨県障害者差別解消支援ネットワーク会議

【トピック】

➤ 平成30年度の障害者差別に関わる相談の状況について報告します。

事務局：山梨県障害福祉課
〒400-8501
山梨県甲府市丸の内1-6-1
Tel 055-223-1362 又は 1460
Fax 055-223-1464
E-mail shogai-fks@pref.yamanashi.lg.jp

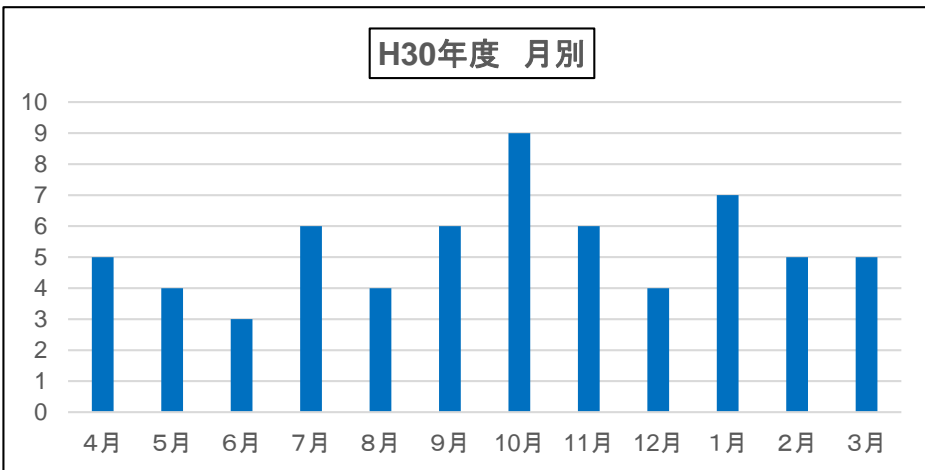
平成30年度障害者差別に関わる相談

平成30年度に市町村の障害者差別地域相談員、県の障害者差別解消推進員・障害者110番が受理した障害者差別に関わる相談の状況について報告します。相談件数は、64件でした。平成28年度からの3年間で、161件になりました。

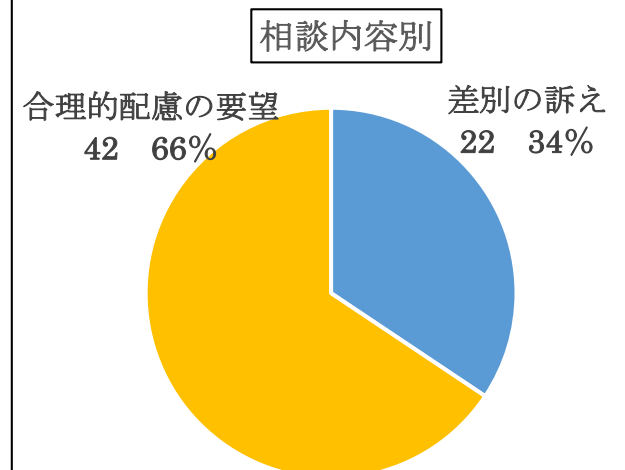
【平成30年度相談件数】

受理機関	件数	区分別 (件)	主な相談内容
障害者差別地域相談員 (市町村受付を含む)	19件	差別の訴え 5 配慮の要望 14	・不動産契約の拒否 公共交通の乗車拒否的対応 ・医療機関の説明が難解
障害者差別解消推進員 (県障害福祉課受付を含む)	44件	差別の訴え 17 配慮の要望 27	・福祉関係職員や公共交通運転手の言動 ・甲府駅南口のバス停留場の改善
障害者110番 (山梨県障害者社会参加推進センター)	1件	配慮の要望 1	・学校における障害特性の理解不足からの合理的配慮の提供不足
県・市町村関係の対応 合計	64件	差別の訴え 22 配慮の要望 42	

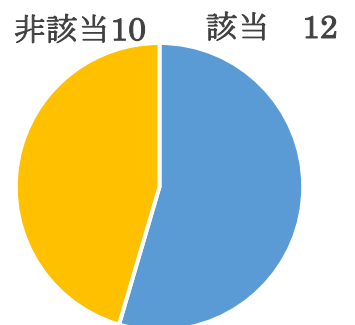
【月別相談件数】



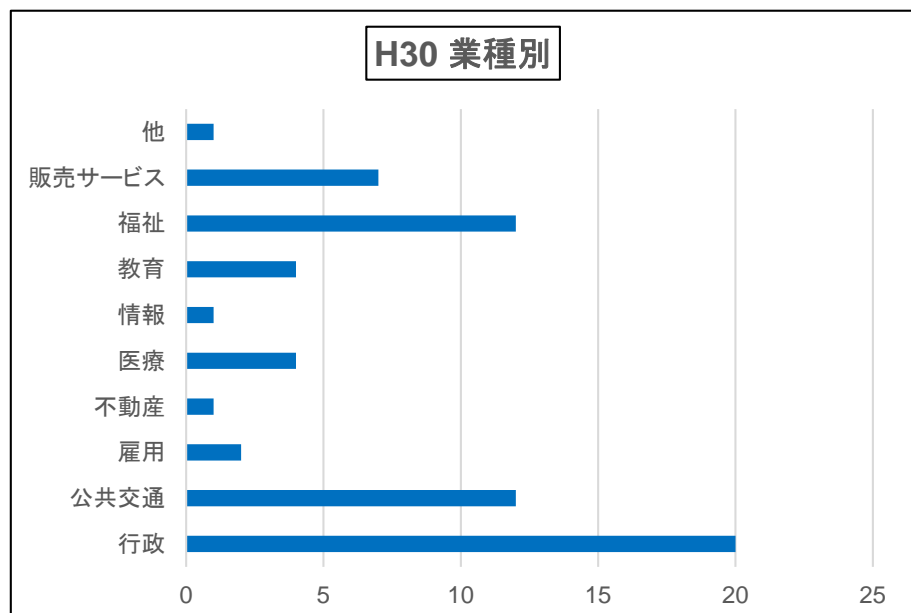
【内容別相談件数】



差別の訴え 該当か非該当か

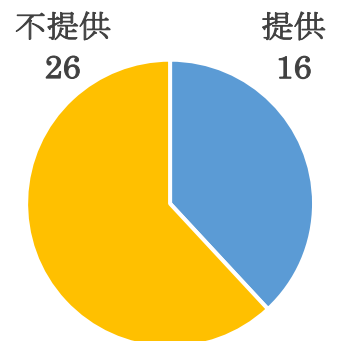


【分野・業種別相談件数】

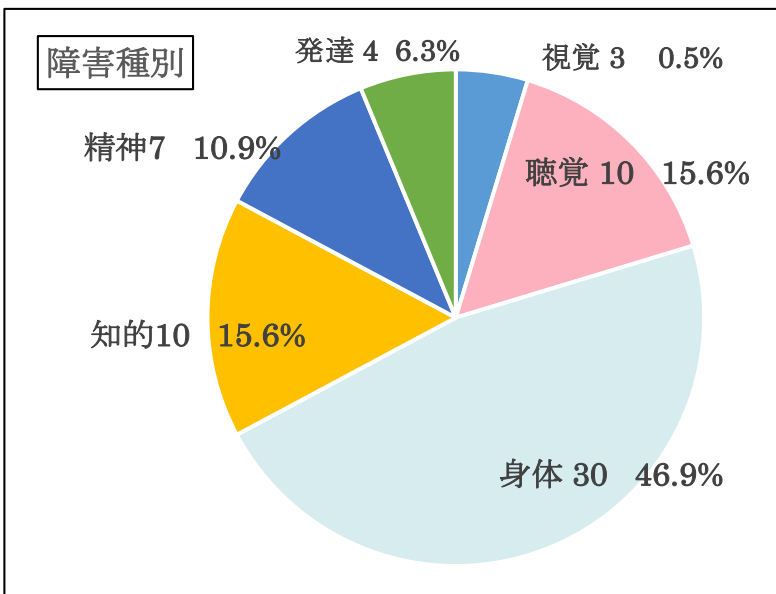


- ・相談件数は、64件。年々増加。
- ・差別の訴えは横ばい状態。
合理的配慮の提供要望が増加。
- ・年間を通じて相談がある。
上期と下期の割合は、1：1.2。
- ・月平均の相談件数は、5.3件。
- ・行政、福祉、公共交通関係が多い。
障害当事者等が日常的・直接的に関係が深い分野の相談が多い。
- ・合理的配慮の提供要望に対して提供・対応がされた割合は、38%。

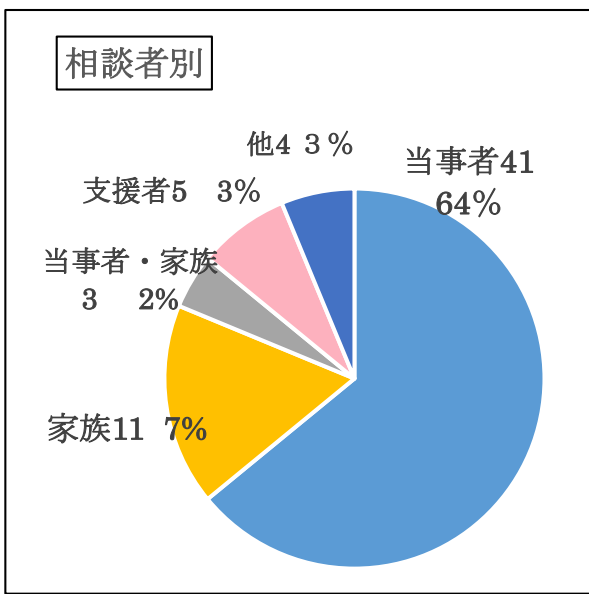
H30対応状況



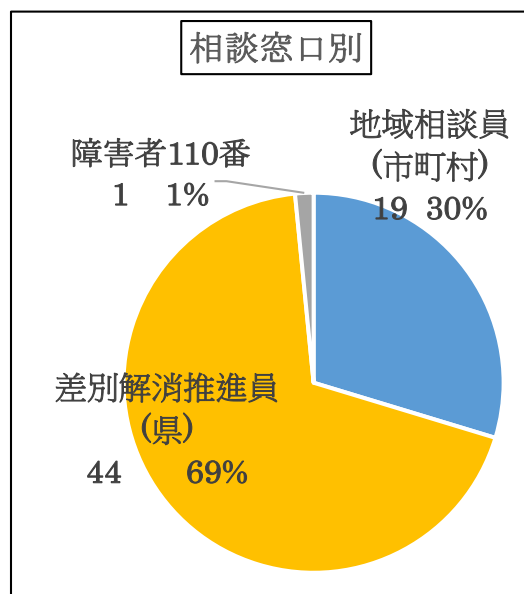
【障害種別相談件数】



【相談者別相談件数】



【受理者別相談件数】

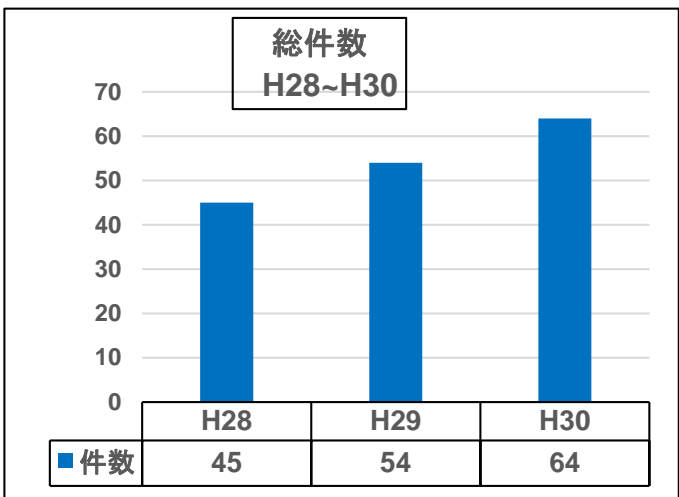


- ・すべての障害種の方からの相談。
- ・身体障害(肢体不自由)が5割近い。
- ・視覚・聴覚・身体障害で、6割を超える。

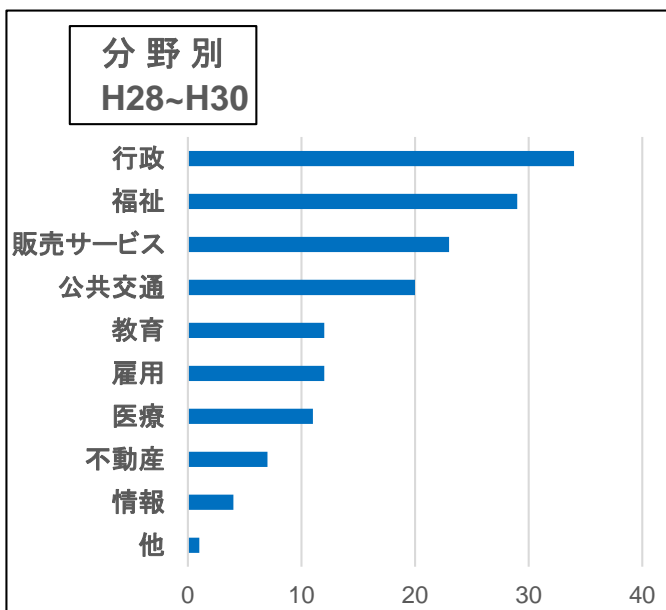
- ・当事者が6割を超えている。
- ・家族が1割程度。
- ・支援者は福祉事業所・団体等。

- ・推進員(県)が7割近く受理。
- ・地域相談員(市町村)は3割。
- ・連携した対応は2割。

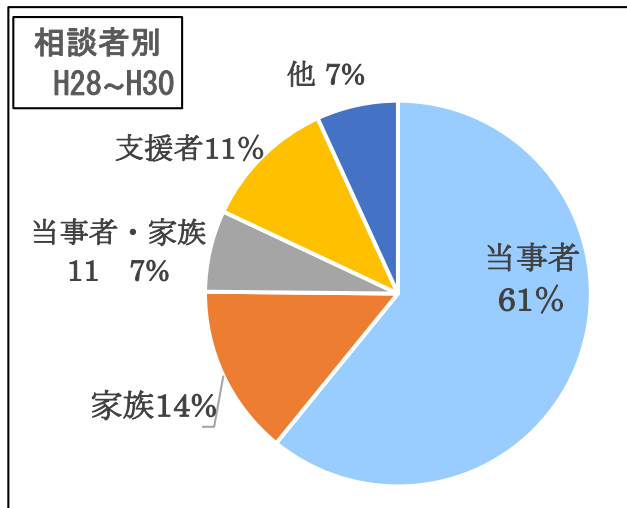
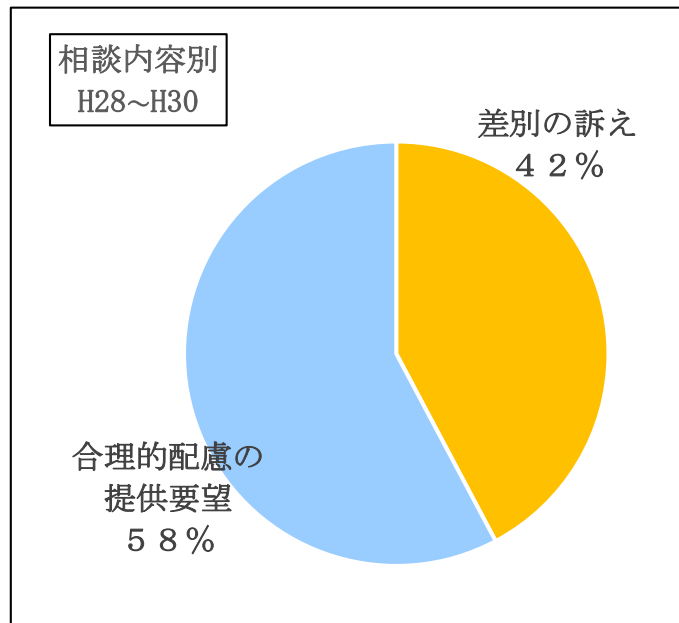
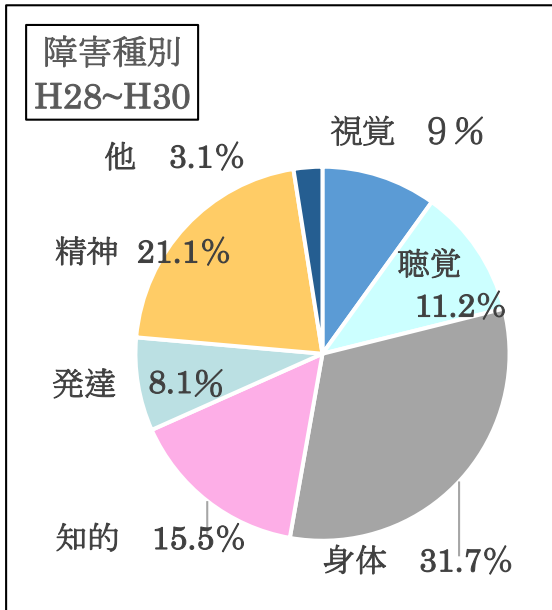
障害者差別解消法施行後3年間の相談状況の推移



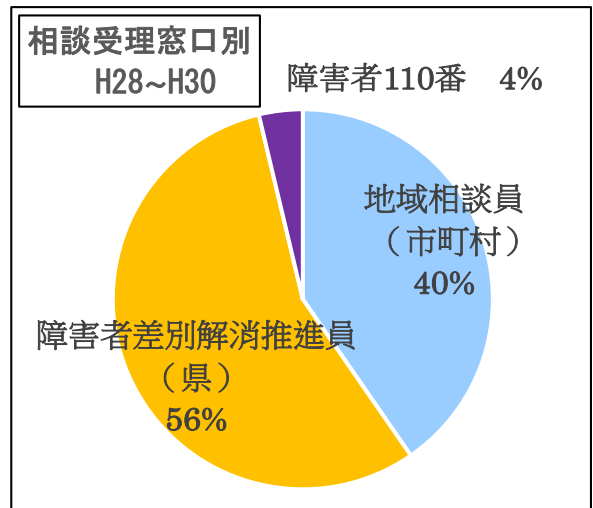
- ・相談件数は、年々増加。
- ・差別の訴えより、合理的配慮の提供要望が増加。



- ・分野別では行政、福祉、サービス、公共交通が多い。
- ・身体障害(視覚・聴覚・肢体不自由)が、5割を超える。



- ・当事者の相談が6割。



- ・差別解消推進員の受理が6割。

編集雑記 新年度に入って、県政出張講座を順調にご利用いただいています。引き続き、多くの方への周知に努めていきます。相談についても、「ヘルプマーク・カード」の周知や思いやりパーキング制度の利用に関わってのマナー、依然として続く盲導犬の拒否事案、選挙の投票場における合理的配慮の提供の問題などについて訴えや意見が寄せられています。法・及び条例が施行され4年目に入っていますが、まだまだ障害者差別をめぐる状況は微々たる変化にとどまっています。推進員として、気持ちを引き締めて、法・条例の理念が一層生かされていくように頑張ります。 編集：久保 和也 (県障害者差別解消推進員)